社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和07年12月09日

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和０８年度　～　令和１２年度　(5年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	藤沢市												
計画の目標	藤沢市の下水道事業は、５つの目標に向け事業を推進いたします。 ●安全・安心なまちづくりへの貢献　●湘南の自然環境への共生　●地域からの取り組む地球環境保全　●快適で潤いのあるまちづくりへの貢献　●自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	7,821	A	7,821	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8	R10	R12
1	管渠における地震対策計画実施率を18.8%（R8）から32.3%（R12）に増加させる。			
	管渠地震対策実施率 上下水道耐震化計画、総合地震対策計画に基づく「対策完了施設数/対策すべき施設数」	188‰	263‰	323‰
2	浸水対策実施率を0.0%（R8）から14.3%（R12）に増加させる。			
	浸水対策実施率 雨水管理総合計画に基づく「重点対策地区の対策完了地区数/対象地区数（地区数7）」	0‰	0‰	143‰
3	処理場・ポンプ場における地震対策計画実施率を24.0%（R8）から28.0%（R12）に増加させる。			
	処理場・ポンプ場地震対策計画実施率 上下水道耐震化計画、総合地震対策計画に基づく「対策完了施設数/対策すべき施設数（計画施設数75）」	240‰	273‰	280‰
4	処理場・ポンプ場における耐水化計画進捗率を61.3%（R8）から65.4%（R12）に増加させる。			
	処理場・ポンプ場耐水化計画進捗率 耐水化計画に基づく「対策完了施設数/すべき施設数（計画施設数75）」	613‰	648‰	654‰
5	湘南台西地区雨水管渠の整備率を45.6%（R8）から46.2%（R12）に増加させる。			
	湘南台西地区雨水整備率 雨水管渠整備済面積（ha）/事業計画面積（ha）	456‰	459‰	462‰

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000776613

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R08	R09	R10	R11	R12	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	管渠（合流）	改築	南部処理区管渠地震対策	南部処理区管渠の耐震化、マンホール浮上防止	藤沢市	■	■	■	■	■	1,988		策定済
		地震対策																	
	A07-002	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	－	新設	南部処理区管渠浸水対策	南部処理区管渠の浸水対策	藤沢市		■	■	■	■	3,502		－
	A07-003	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	終末処理場	改築	辻堂浄化センター地震・津波対策	辻堂浄化センターの地震・津波対策	藤沢市	■	■				251		策定済
		地震対策																	
	A07-004	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	ポンプ場	改築	南部処理区ポンプ場耐水化	南部処理区ポンプ場の耐水化	藤沢市	■	■	■	■		310		策定済
		耐水化計画																	
	A07-005	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	管渠（汚水）	改築	東部処理区管渠地震対策	東部処理区管渠の耐震化、マンホール浮上防止	藤沢市	■	■	■			190		策定済
		地震対策																	
	A07-006	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	ポンプ場	改築	東部処理区ポンプ場地震対策	東部処理区ポンプ場の地震対策	藤沢市		■	■	■	■	289		策定済
		地震対策																	
	A07-007	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	終末処理場	改築	大清水浄化センター地震対策	大清水浄化センターの地震対策	藤沢市	■	■	■	■	■	810		策定済
		地震対策																	

案件番号： 0000776613

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R08	R09	R10	R11	R12	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-008	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	ポンプ場	改築	東部処理区ポンプ場耐水化	東部処理区ポンプ場の耐水化	藤沢市		■				136		策定済
		耐水化計画																	
	A07-009	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	管渠（雨水）	新設	湘南台西地区管渠整備（雨水）	φ300～700　□1800×1800～□3400×3400　L=0.7㎞	藤沢市	■	■	■	■	■	330		－
	A07-010	下水道	一般	藤沢市	直接	藤沢市	管渠（汚水）	改築	相模川流域処理区管渠地震対策	相模川流域処理区管渠の耐震化	藤沢市		■				15		策定済
		地震対策																	
											小計						7,821		
											合計						7,821		

案件番号： 0000776613

事前評価チェックシート

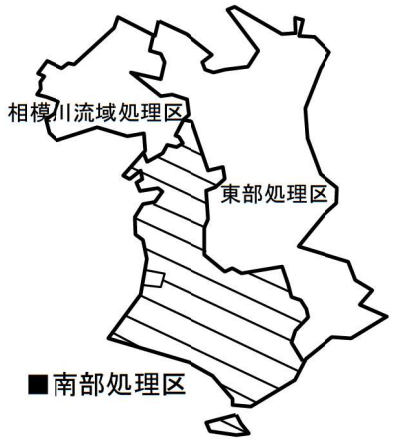
計画の名称： 湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）（重点計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	○
II.　計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II.　計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III.　計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III.　計画の実現可能性 ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○

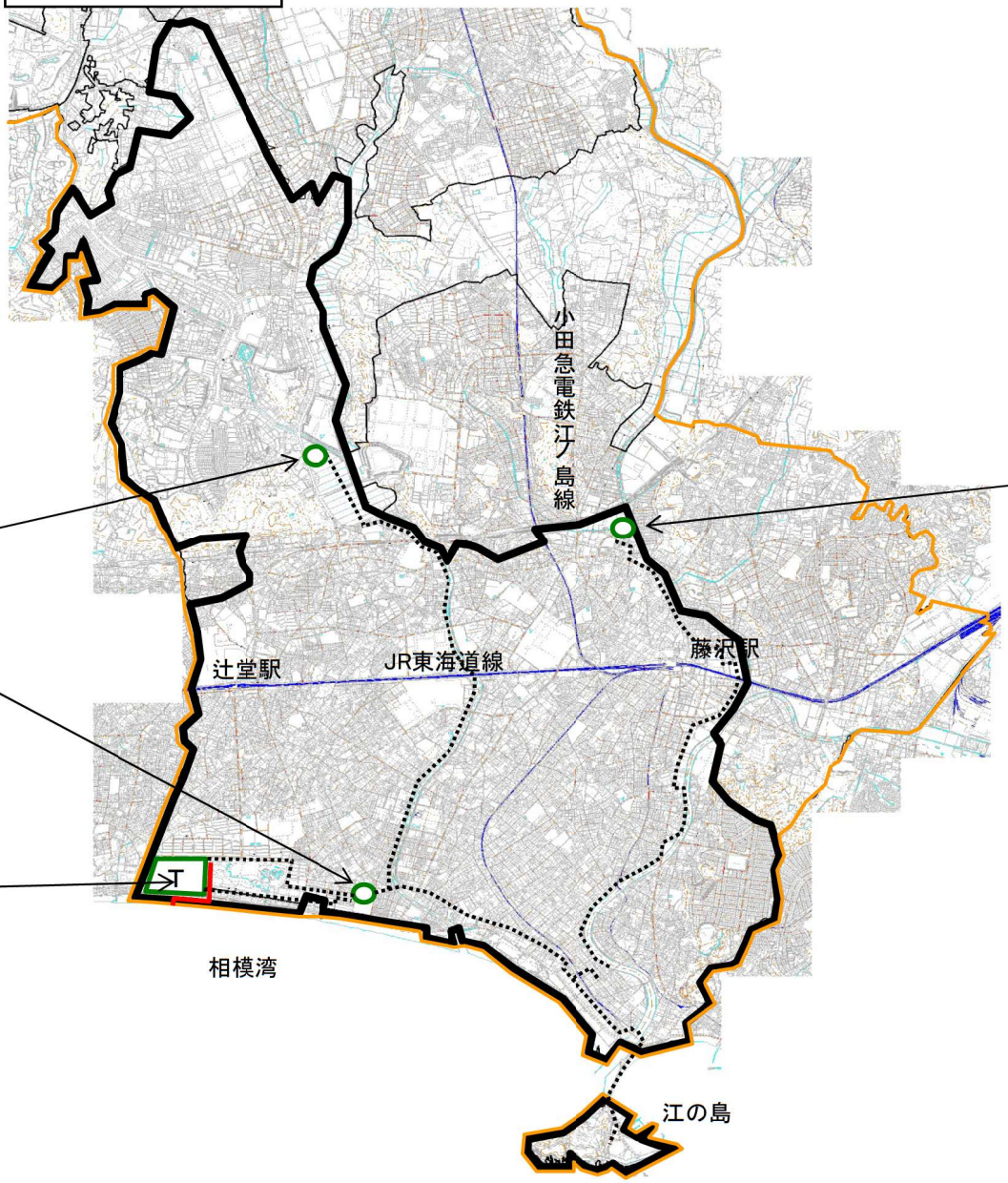
案件番号：0000776613

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）（重点）		
計画の期間	令和8年度　～　令和12年度　（5年間）	交付対象	藤沢市

藤沢市処理区分図



南部処理区計画図



南部処理区全域

管渠地震対策　A07-001
管渠浸水対策　A07-002

御殿辺ポンプ場
A07-004

大庭ポンプ場
A07-004

浜見山ポンプ場
A07-004

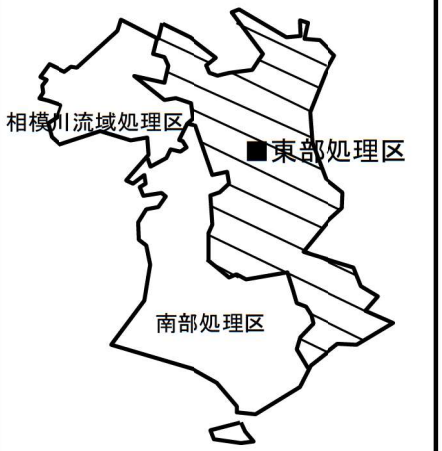
辻堂浄化センター
A07-003

凡　例

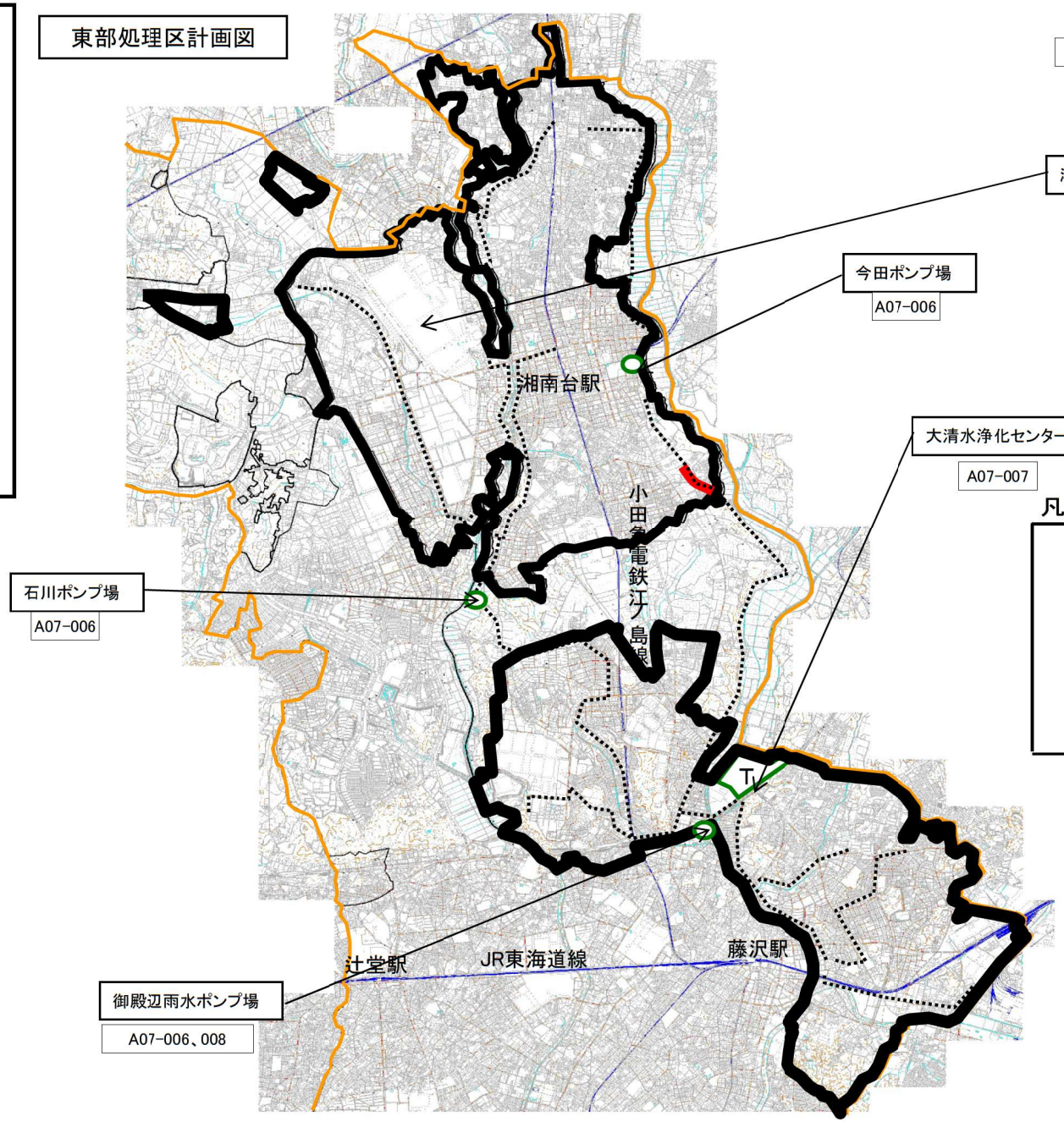
- 行政界
- 下水道法による事業計画区域（整備予定区域）
- 主な既設幹線
- ポンプ場
- T　処理場

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）（重点）		
計画の期間	令和8年度　～　令和12年度　（5年間）	交付対象	藤沢市

藤沢市処理区分図



東部処理区計画図



東部処理区全域

管渠地震対策　A07-005

湘南台西地区管渠整備(雨水)

A07-009

今田ポンプ場

A07-006

大清水浄化センター

A07-007

石川ポンプ場

A07-006

御殿辺雨水ポンプ場

A07-006、008

凡　例

- 行政界
- 下水道法による事業計画区域（整備予定区域）
- 主な既設幹線
- ポンプ場
- T　処理場

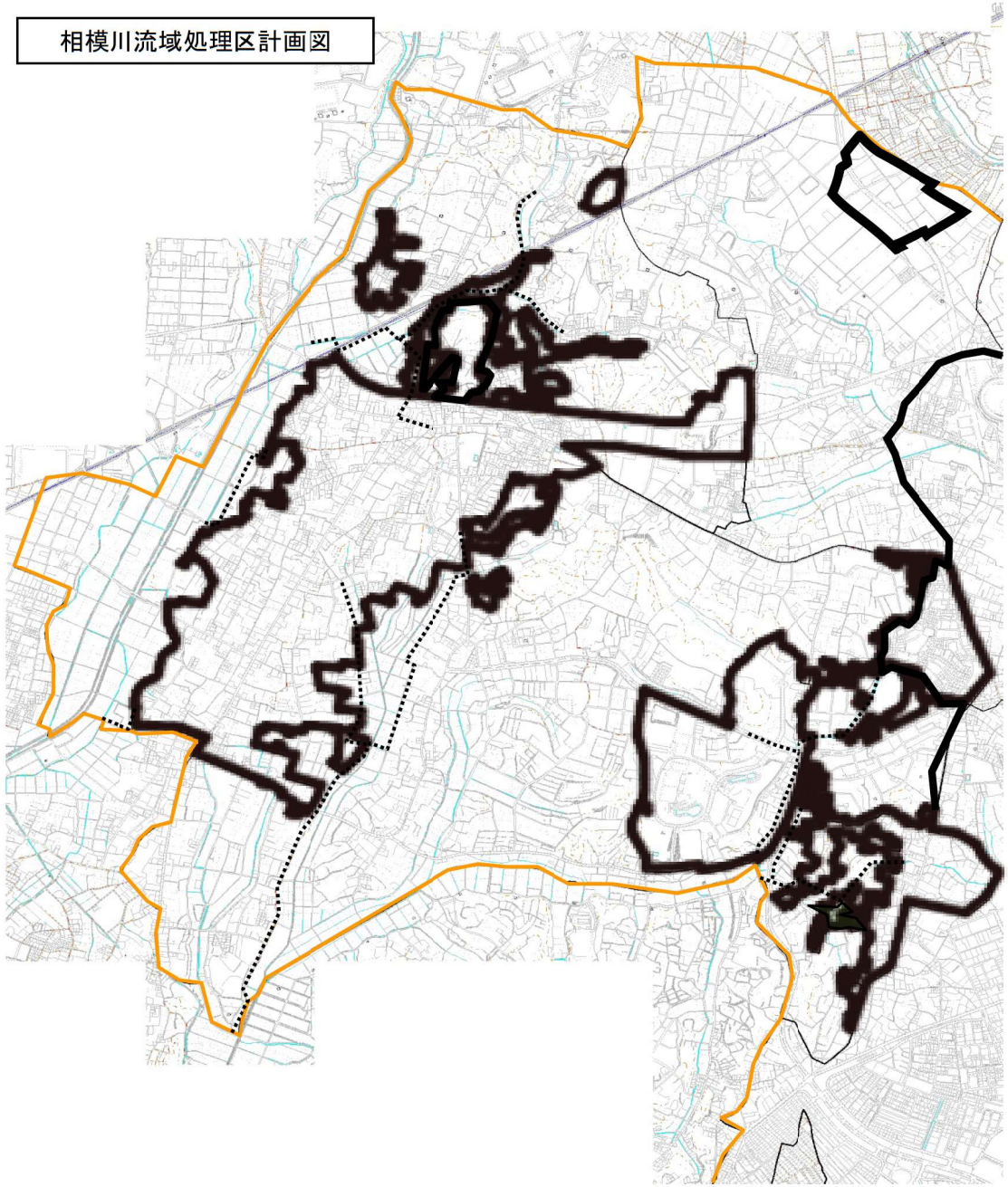
計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）（重点）		
計画の期間	令和8年度　～　令和12年度　（5年間）	交付対象	藤沢市

藤沢市処理区分図

■相模川流域処理区



相模川流域処理区計画図



相模川流域全域

管渠地震対策　A07-010

凡　例

- 行政界
- 下水道法による事業計画区域（整備予定区域）
- 主な既設幹線